

本年は七色帆引き船の操業が行われます。

湖上にいきづく、風の旅人

2018 茨城

祝 国選択無形民俗文化財(平成30年3月「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」が国選択無形民俗文化財に選定されました。)

行方市

操業期間 9/1(土)~12/2(日)までの
毎週土・日曜日
※麻生地区については、9月は日曜日だけの操業

受付場所 【麻生地区】天王崎観光交流センターコテラス内
(乗船場所:古宿船溜)
【玉造地区】行方市観光物産館「こいこい」裏
帆引き船事務所
(乗船場所:霞ヶ浦ふれあいランド地先玉造棧橋)

運航時刻 <9~12月> 1回目 13:30~
2回目 15:30~
(受付【麻生地区】11:00~【玉造地区】10:00~)

料金 大人2,000円/小人1,000円(未就学児無料)

問合せ (一財)行方市開発公社

電話 0299-55-3927

土浦市

操業期間 7/21(土)~10/14(日)までの
毎週土・日曜日、祝日
【うち、かすみがうら市との合同操業】
7/15(日)かすみがうら市(あゆみ祭り)
8/5(日)土浦市(キララまつり)

受付場所 土浦港内乗船場所

運航時刻 <ラクスマリーナ利用>
ホワイトアイリス号 13:30~
大人1,540円/小人770円(未就学児無料)
<常陽観光利用>
ジェットホイルつくば号 13:25~
大人1,680円/小人840円(未就学児無料)

問合せ (一社)土浦市観光協会 電話029-824-2810
土浦市観光案内所 電話029-821-4166
土浦市商工観光課 電話029-826-1111(内線2705)

かすみがうら市

操業期間 7/22(日)~11/25(日)までの
毎週日曜日
【うち、土浦市との合同操業】
7/15(日)かすみがうら市(あゆみ祭り)
8/5(日)土浦市(キララまつり)

受付場所 かすみがうら市交流センター
(乗船場所:志戸崎漁港)

運航時刻 <7~10月> 【受付】13:00~13:30
【出航】14:00
<11月のみ> 【受付】15:00~15:30
【出航】16:00
【8/12(日)・10/14(日)】運休 ※11月より夕景操業

料金 大人2,000円/小人1,000円(未就学児無料)

問合せ かすみがうら市観光協会電話029-897-1111
【操業当日】
かすみがうら市交流センター 電話029-896-1226

観光帆引き船

見学の乗船のご案内

3市合同操業

9/16日

受付:土浦市、かすみがうら市、行方市
※3市いずれでも受付いたします。
操業場所:かすみがうら市歩崎沖

写真提供:霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会

平成百景

あなたを選ぶ、新時代の日本の風景

読売新聞創刊135周年を記念して新時代の景観を選ぶ「平成百景」に霞ヶ浦の帆引き船が選ばれました。

※天候等により、予定された日・時間に操業できない場合があります。詳しくはお問合せ下さい。





帆引き船を使った帆引き網漁は、明治13年(1880)シラウオ漁を目的にかすみがうら市の折本良平によって考案され、ワカサギ漁の主役として昭和42年(1967)までの約100年間、霞ヶ浦漁業の花形として一世を風靡しました。また、折本良平が帆引き船を考案した当時は、サップ船という舟が使用されておりましたが、サップ船は安定していたものの、沖へ漕いでいくには波切りが悪いという欠点があり、海で使われていた波切りの良いチョキ(猪牙)船を元に、玉造の船大工 田上亀次郎が銚子に行き、チョキ船の製造を学びサップ船の長所を取り入れ、霞ヶ浦で最初にミヨシ船を造りました。ミヨシ船の登場は漁獲量の増大をもたらし、以後霞ヶ浦漁船の主流となりました。

※乗船は伴走する見学船で帆引き船ではありません。